

令和5年度

幼稚園だより 12月号



文京区立千駄木幼稚園

5年生との交流を通して

園長 多比良 由恵

園庭の銀杏の葉が黄色く色付きはじめ、幼稚園も秋から冬の景色になってきました。土の園庭にはたくさんの樹木があり、子どもたちは落ち葉のプールに入ったり、葉っぱや木の実をごちそうにしたりして、身近な自然を取り入れた遊びを存分に楽しんでいます。

11月の中旬、数年ぶりに、年長組が千駄木小学校を訪問して5年生と直接ふれあう交流を行うことができました。コロナ禍のときには、映像やオンラインでの交流でしたので、実際に幼児と児童が関わるができる、貴重な機会となりました。

交流は2日間にわたって行われました。1回目は、グループの小学生と一緒に工作を作って遊ぶ活動、2回目は、一緒に展覧会の見学などを行いました。

1回目のスタート時は、緊張している様子の子どもたちでしたが、5年生が優しく声を掛けてくれて、一緒に工作を作ってもらうことを通して、徐々に安心した表情になり、親しみを感じながら関わっている姿がたくさんありました。

そして数日後の2回目では、顔見知りになったお兄さん、お姉さんと再会し、リラックスした表情で一緒に遊んだり、作品を見て回ったりする姿がたくさん見られました。

年長児には「5年生のお兄さん、お姉さん、優しかったな」「小学生になったら自分のタブレットで勉強するんだ！」など、小学校への安心や期待につながる体験になりました。

きっと5年生にとっても「今度1年生になる子どもたちに、こんな風に伝えるといいんだな」など見通しをもったり、「自分にもこんなときがあったな」と大きくなった自分を感じたりする機会となったことと思います。

交流の後、幼稚園に戻った子どもたちは、教わった工作を自分たちでも作って遊んでいました。「楽しかった」「うれしかった」という気持ちで、新たな挑戦につながりました。

このようないろいろな人と関わる体験を通して、子どもたちは人との関わり方を学んだり、新しいことに挑戦する意欲をもったりしています。今後も、いろいろな人との交流の機会を大切に、子どもたちの学びが深まっていくようにしていきます。

保護者や地域の皆様には、2学期もたくさんのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。



「これは千駄木幼稚園の子どもたちの作品だね」

〈幼稚園からも展覧会に作品を飾らせていただきました〉



〈園庭の銀杏が黄色くなってきました〉